

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2005-535581(P2005-535581A)

【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-046

【出願番号】特願2004-500839(P2004-500839)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	31/22	(2006.01)
A 6 1 K	31/683	(2006.01)
A 6 1 K	31/685	(2006.01)
A 6 1 K	31/7004	(2006.01)
A 6 1 K	31/77	(2006.01)
A 6 1 K	31/775	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	9/14
A 6 1 K	9/72
A 6 1 K	31/045
A 6 1 K	31/20
A 6 1 K	31/22
A 6 1 K	31/683
A 6 1 K	31/685
A 6 1 K	31/7004
A 6 1 K	31/77
A 6 1 K	31/775
A 6 1 K	45/06
A 6 1 K	47/08
A 6 1 K	47/10

A 6 1 K 47/14
A 6 1 K 47/22
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 31/06
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 31/14
A 6 1 P 31/16
A 6 1 P 31/20
A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肺粘膜の表面が刺激されそして該表面が不安定化される肺障害または肺感染の処置のための処方物であって、該処方物は、高い歪み速度では肺粘液内層液の1つ以上の物理的特性を有意に変えて、病原体の出芽の起きた肺の領域内の表面不安定性を減少させるが、低い歪み速度では該1つ以上の物理的特性を有意には変えない物質の有効量を含む、処方物。

【請求項2】

前記肺粘液内層液の物理的特性が、表面張力、表面弹性、表面の粘性、および層の厚みからなる群より選択される、請求項1に記載の処方物。

【請求項3】

前記物質が、所定の剪断領域における肺粘膜での小滴形成率を有意に減少させるために有効な量である、請求項1に記載の処方物。

【請求項4】

10 μm未満の粒子の乾燥粉末を含有する、請求項1に記載の処方物。

【請求項5】

溶液である、請求項1に記載の処方物。

【請求項6】

前記物質が、1つ以上の界面活性剤である、請求項1に記載の処方物。

【請求項7】

前記界面活性剤が、L- - -ホスファチジルコリンジパルミトイル(「DPPC」)、ジホスファチジルグリセロール(DPPG)、1,2-ジパルミトイル-sn-グリセロ-3-ホスホ-L-セリン(DPPS)、1,2-ジパルミトイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン(DSPC)、1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホエタノールアミン(DSPE)、1-パルミトイル-2-オレオイルホスファチジルコリン(POPC)、脂肪アルコール、ポリオキシエチレン-9-ラウリルエーテル、界面活性脂肪酸、ソルビタントリオレート(Span 85)、グリココレート、サーファクチン、ポロクソマー、ソルビタン脂肪酸エステル、チロキサポール、リン脂質、およびアルキル化糖類からなる群から選択される界面活性剤からなる群から選択される、請求項6に記載の処方物。

【請求項8】

前記物質が、多糖類または合成ポリマーを含有する、請求項1に記載の処方物。

【請求項9】

前記溶液が、有機溶媒である、請求項5に記載の処方物。

【請求項 1 0】

抗ウイルス剤、抗生物質、気管支拡張剤、およびステロイドからなる群から選択される化合物をさらに含有する、請求項 1 に記載の処方物。

【請求項 1 1】

ポリマー、多糖類、またはタンパク質をさらに含有する、請求項 1 に記載の処方物。

【請求項 1 2】

結核菌、S A R S、インフルエンザ、サイトメガロウイルス、R Sウイルス、および口蹄疫からなる群から選択される感染因子の感染性を制限するために有効な量である、請求項 1 に記載の処方物。

【請求項 1 3】

動物における病原体の出芽を制限するための装置であって、該装置は、

動物を通過させるテントまたは他の封じ込め設備、および

病原体の出芽が発生する肺の領域内の表面不安定性を減少させるために、有効な量の物質を含有する溶液を撒布する噴霧器であって、該有効な量の物質が、高い歪み速度では肺粘液内層液の1つ以上の物理的特性を有意に変えるが、低い歪み速度では該1つ以上の物理的特性を有意には変えない、噴霧器

を備える装置。

【請求項 1 4】

前記動物における病原体の出芽を制限するためのシステムであって、該システムは、請求項 1 3 に記載の装置に動物を通過させる手段であって、該装置は前記テントまたは他の封じ込め設備を該動物が通過する際に、該動物に噴霧される溶液を投与するように構成される、システム。

【請求項 1 5】

肺粘膜の表面が刺激されそして該表面が不安定化される肺障害または肺感染を処置するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物が、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 つに記載の処方物をヒトまたは動物に肺投与するために処方される、薬学的組成物。

【請求項 1 6】

前記処方物が、肺疾患または肺障害の処置のための処方物である、請求項1 5に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 7】

前記疾患が、ウイルス感染である、請求項1 6に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 8】

前記ウイルスが、S A R S、インフルエンザ、口蹄疫、R S V およびサイトメガロウイルスからなる群から選択される、請求項1 7に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 9】

前記障害が、アレルギーまたは喘息である、請求項1 6に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 0】

前記処方物が、乾燥粉末吸入器での投与のための処方物である、請求項1 5に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 1】

前記処方物が、計量吸入器での投与のための処方物である、請求項1 5に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 2】

前記処方物が、噴霧器での投与のための処方物である、請求項1 5に記載の薬学的組成物。